

校長室だより

共学共高

第
42
号

令和5年4月26日発行

発行責任者

白梅学園高等学校長

武内 彰

1学年オリエンテーション遠足 ～@箱根その1

4月25日（火）1学年は箱根においてオリエンテーション遠足を実施した。私はその引率をしたので、報告させていただく。

教員は午前6時50分にJR国立駅前大学通りに集合である。旅行業者の方々、卒業アルバム写真業者の方とあいさつを交わし、簡単な打ち合わせをした後に、駅改札からの誘導のために先生たちが所定の場所につく。私は1年1組が乗車する1号車のバスが配車される予定の場所へ移動する。駅から歩いてきた生徒たちとあいさつを交わして、バスへと誘導する。生徒の集合が確認され、午前7時43分に出発である。



新入生たちは、入学してから2週間余り、まだ緊張や不安も残っているであろうが、1組のバス内ではクラスレクリエーションが行われる。予めバディ（2人組）が決められており、4人1組の列内で、他己紹介をする。つまり、自分のバディを他の生徒に紹介するのだ。バディのことをよく知っていないと紹介できない。生徒たちはお互いに活発にやりとりをしている。次に、クラス内の企画担当者による「クラスメイトが誰であるかを当てるクイズ」が出題される。例えば、好きな食べ物は・・・、好きな動物は・・・、とヒントが出されると、分かった生徒が当該生徒の名前を言うのである。全問正解であった。さすがである。

企画系の生徒たちが考えたレクが終わると、担任のS先生の登場である。第1問は「校長先生の誕生月は何月でしょう？イメージで一つ選んで手を挙げてください」「1月・・・何名、2月・・・何名、3月・・・何名」と続く。夏あたりの挙手が多いようだ。正解は「1

月である」S先生が続ける。「校長先生が高校時代に所属していた部活動は、何でしょう？」と投げかけられる。生徒たちは、「バスケ部、テニス部、剣道部、バトン部・・・」などとイメージで答えていく。正解は「バドミントン部である。」続いて、S先生自身が高校時代に入りたかった部活動は何でしょうか？ちなみに中学から大学まで陸上部に所属していました」と投げかけられる。「バレー部、バスケ部、チア部・・・」などと声が上がるが、正解は「吹奏楽部です」「天空の城ラピュタに登場してくるトランペッターに憧れて入部を考えました」とお話しされた。1組の生徒たちは知っているかどうか分からないが、S先生は陸上競技で全日本チャンピオンになっている方だ。優しい語り口のS先生からは想像できないと思う生徒もいるかもしれないが、真実である。引き続き、S先生から多くのなぞなぞが出され、生徒たちは完璧に回答していた。よくこのようにたくさんなぞなぞを用意できるものだと感心した。パンケーキとホットケーキの違いを的確に説明してくれる生徒もいて、驚いた。

そうこうしていると、足柄サービスエリアでトイレ休憩である。サービスエリアでは女性用トイレに生徒たちの長蛇の列ができて心配したが、予定通りに出発することができた。バスに戻る際にカメラマンさんがレンズを向けると、多くの生徒たちが笑顔でポーズをとっていた。

続いてバス内では学園歌の練習が行われる。CDに合わせて斉唱するが、音楽選択の生徒たちがいるせいか、比較的良好に声が出ていた。私も生徒たちと一緒に歌う。学校のホームページで学園歌を聴くことができるので、着任した年に毎朝練習して、自然に覚えるようになった。私が特に好きな歌詞は「たわみて折れぬ姿こそ、学びの道の願いなれ」という2番の歌詞の一部分である。学びの道は一生涯続くが、途中で挫折して立ち直れなくなってしまうのではなく、強風に吹かれても秋萩のようにしなやかにたわんで、やりすごしていくという趣旨だと思うが、励まされる部分だ。

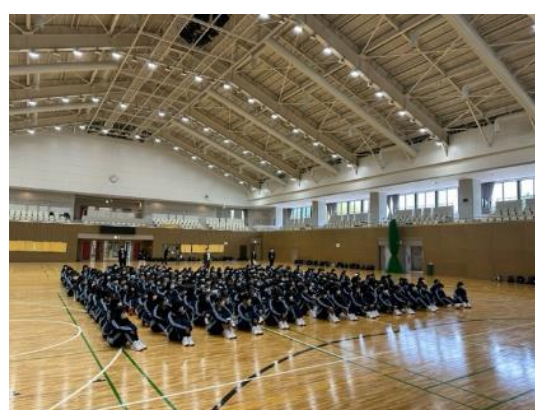


午前10時過ぎ、目的地である星槎レイクアリーナに到着する。1組から順にアリーナに入り、壁際に荷物を置いて、開講式に備える。バス内で預かった貴重品（財布や携帯電話など）は、袋に入れて教員控え室で管理する。

開講式では、校長挨拶、学年主任挨拶、そしてこれから行われる「ぶちアドベンチャーゲーム」の説明がスタッフの方から行われる。このときには、予め決められたグループごとに

分かれて説明を聞く。地図やコンパス、指示書などの必要品が班ごとに渡されている。ぷちアドベンチャーゲームは、いまいる施設を中心として山側、そして芦ノ湖側の周辺7か所にチェックポイントが設けられており、それらを見つけ出し、そこでの課題にも挑戦してクリアした後に、制限時間内で施設まで戻ってくるというものだ。課題をクリアするとポイントが加算される一方、時間オーバーすると減点されてしまう。いかにメンバーで上手に役割分担をして多くのチェックポイントを見出せるかがポイントだ。

ところが、面白い仕掛けが用意されていた。出発前にスタッフから○×クイズが4問出されるのだ。正解したチームから出発できるのである。4問とも不正解となると、一定の待機時間を経たからのスタートとなる。企業秘密なので、クイズの中身は記述できないが、1問目で正解したチームは全体の半数程度、嬉々として出ていった。一方、3問連続で不正解となったチームも複数あり、「もうあきらめています。ゆっくり回ります」などという声も聞こえてくる。さて、どこのチームが、あるいはどこのクラスが表彰されるのであろうか。気を付けて行ってらっしゃい。



(共学共高とは：本校のディプロマポリシー（育てたい生徒像）の一つで、「共に学び、共に高め合う」生徒の姿を表す)